



第 8 回（2017 年度）調査のご報告

小さな「お庭」も、山林や草原、大きな公園とおなじくらい、生きものにとっては大切な場所なのです。

「NPO 法人生態教育センター」では、2010 年度から他のNPOや環境省・企業などと協働して、皆様のお宅のお庭にはどのような生きものがいるのかを調べる「お庭の生きもの調査」を実施しております。2017 年度に実施した「第 8 回調査」は、以下のような結果となりました。

● 第 8 回お庭の生きもの調査 概要

- ▽主催 : 特定非営利活動法人 生態教育センター
- ▽後援 : 環境省 生物多様性センター
- ▽協力 : 東京都市大学 環境学部生物多様性研究室
同 メディア情報学部情報システム学科
- ▽調査目的 : 個人宅の庭を訪れる生きものを定点で観察し、そのデータを収集することで、生物多様性の現状把握と保全・回復のための施策立案の基礎データとして活用すること。
- ▽調査期間 : 平成 29 年（2017 年）5 月 1 日～10 月 31 日
- ▽調査参加庭数 : 110 庭 （調査参加者数：1,239 名）
- ▽調査報告件数 : のべ 4,841 件
- ▽参加者居住地 : 北海道石狩市から、沖縄県豊見城市までの全 47 都道府県
- ▽参加者年齢層 : 未就学児童を含む家族から、80 歳代の方まで

2017 年度調査で確認された生きものは、**554 種**（昆虫類：461 種、鳥類：19 種、両生類：8 種、は虫類：8 種、ほ乳類：4 種、その他：54 種）になり、2010 年度からの総数では、**1,201 種**にのぼります。東京都市大学のご協力によるデータ解析では、農地が隣接していると全体の種数が増え、庭の緑が多く、近くに雑木林があると鳥類の種数が増加する……など、周辺の生息地から拡散しようとする生きものにとって、点在して隙間を埋める生息地として、市街地の生物多様性における「お庭」の大切さが、少しずつですが浮き彫りになってきました。

ご協力ありがとうございました。

●調査概要

▽指定した 20 種の生きものを庭で見かけたら、シートに○を付けるだけの、初心者の方でも簡単にできる生きもの調査。

▽調査参加庭数 : 74 庭 ▽調査報告件数 : のべ 245 件

●お庭で見られた生きものランキング（対象 20 種）

2017年度調査				
順位	種	見られた庭数	報告のべ件数	%
第1位	スズメ	70 庭	のべ212件	94.59%
第2位	アリの仲間	68 庭	のべ221件	91.89%
第2位	クモの巣	68 庭	のべ216件	91.89%
第4位	モンシロチョウ	51 庭	のべ136件	68.92%
第4位	ヒヨドリ	51 庭	のべ128件	68.92%
第6位	バッタの仲間	49 庭	のべ124件	66.22%
第7位	トンボの仲間	44 庭	のべ106件	59.46%
第8位	カマキリの仲間	42 庭	のべ106件	56.76%
第9位	アオスジアゲハ	36 庭	のべ 88件	48.65%
第10位	アブラゼミ	35 庭	のべ 59件	47.30%
第11位	ツバメ	32 庭	のべ 62件	43.24%
第11位	カタツムリの仲間	32 庭	のべ 82件	43.24%
第13位	ベニシジミ	29 庭	のべ 69件	39.19%
第14位	コオロギの仲間	28 庭	のべ 68件	37.84%
第15位	シジュウカラ	27 庭	のべ 68件	36.49%
第16位	カエルの仲間	26 庭	のべ189件	35.14%
第17位	ハチの巣	25 庭	のべ 63件	33.78%
第18位	ミンミンゼミ	23 庭	のべ 32件	31.08%
第19位	メジロ	21 庭	のべ 33件	28.38%
第20位	クマゼミ	19 庭	のべ 29件	25.68%

2016年度調査での ランキング		2015年度調査での ランキング		2014年度調査での ランキング	
アリの仲間	96.25%	アリの仲間	91.38%	クモの巣	94.29%
クモの巣	96.25%	クモの巣	87.36%	スズメ	90.48%
スズメ	92.50%	スズメ	78.74%	アリの仲間	87.62%
モンシロチョウ	73.75%	モンシロチョウ	63.22%	モンシロチョウ	75.24%
バッタの仲間	65.00%	トンボの仲間	56.90%	ヒヨドリ	60.00%
ヒヨドリ	61.25%	アブラゼミ	56.90%	トンボの仲間	52.38%
トンボの仲間	53.75%	バッタの仲間	52.30%	バッタの仲間	46.67%
カマキリの仲間	53.75%	ミンミンゼミ	48.28%	ベニシジミ	45.71%
アオスジアゲハ	51.25%	カマキリの仲間	44.25%	カエルの仲間	44.76%
アブラゼミ	48.75%	アオスジアゲハ	40.23%	カマキリの仲間	41.90%
カエルの仲間	47.50%	ヒヨドリ	37.93%	アオスジアゲハ	41.90%
ツバメ	47.50%	ベニシジミ	35.63%	カタツムリの仲間	40.95%
カタツムリの仲間	46.25%	コオロギの仲間	35.06%	ツバメ	36.19%
ベニシジミ	45.00%	カタツムリの仲間	26.44%	アブラゼミ	35.24%
ハチの巣	42.50%	ツバメ	25.86%	シジュウカラ	35.24%
シジュウカラ	41.25%	シジュウカラ	25.29%	コオロギの仲間	27.62%
ミンミンゼミ	38.75%	カエルの仲間	23.56%	ハチの巣	25.71%
コオロギの仲間	37.50%	メジロ	21.26%	メジロ	25.71%
メジロ	30.00%	クマゼミ	20.11%	ミンミンゼミ	25.71%
クマゼミ	26.25%	ハチの巣	18.39%	クマゼミ	17.14%

初心者の方やお子様でも参加できる調査として実施している「はじめての生きもの調査」。今年度から調査期間が10月まで延長されたことに伴い、「バッタの仲間」や「コオロギの仲間」など、秋にも見られる昆虫の割合が少し上がっているようです。



ササキリ

2013年度調査での ランキング		2012年度調査での ランキング		2011年度調査での ランキング		2010年度調査での ランキング	
アリの仲間	95.56%	アリの仲間	100.00%	アリの仲間	96.88%	アリの仲間	93.35%
クモの巣	92.22%	クモの巣	100.00%	クモの巣	96.88%	クモの巣	91.14%
スズメ	90.00%	スズメ	88.57%	スズメ	95.31%	スズメ	90.03%
モンシロチョウ	88.89%	モンシロチョウ	75.71%	モンシロチョウ	82.81%	モンシロチョウ	72.30%
バッタの仲間	73.33%	バッタの仲間	75.71%	バッタの仲間	65.62%	バッタの仲間	60.11%
トンボの仲間	65.56%	トンボの仲間	70.00%	アオスジアゲハ	60.94%	トンボの仲間	55.40%
ヒヨドリ	64.44%	アブラゼミ	65.71%	トンボの仲間	60.94%	カマキリの仲間	48.20%
カマキリの仲間	61.11%	アオスジアゲハ	60.00%	ヒヨドリ	58.59%	カエルの仲間	47.92%
カエルの仲間	54.44%	カマキリの仲間	51.43%	ベニシジミ	58.59%	アオスジアゲハ	46.26%
アブラゼミ	53.33%	ベニシジミ	51.43%	カタツムリの仲間	55.47%	ベニシジミ	45.98%
コオロギの仲間	50.00%	ヒヨドリ	50.00%	アブラゼミ	52.34%	カタツムリの仲間	42.38%
アオスジアゲハ	47.78%	カタツムリの仲間	48.57%	カエルの仲間	50.00%	アブラゼミ	41.55%
カタツムリの仲間	47.78%	コオロギの仲間	47.14%	カマキリの仲間	49.22%	ヒヨドリ	41.27%
ベニシジミ	45.56%	カエルの仲間	42.86%	コオロギの仲間	42.97%	ツバメ	40.17%
ツバメ	44.44%	ミンミンゼミ	41.43%	ツバメ	41.40%	コオロギの仲間	37.12%
シジュウカラ	41.11%	クマゼミ	37.14%	シジュウカラ	35.16%	シジュウカラ	32.13%
ハチの巣	37.78%	ツバメ	37.14%	ハチの巣	33.59%	ハチの巣	30.19%
ミンミンゼミ	31.11%	シジュウカラ	35.71%	ミンミンゼミ	33.59%	ミンミンゼミ	25.48%
クマゼミ	27.78%	ハチの巣	34.29%	メジロ	26.56%	メジロ	22.71%
メジロ	26.67%	メジロ	27.14%	クマゼミ	25.00%	クマゼミ	19.67%

お庭にやってくる野鳥の調査

Garden Wild Life Watch 2017



●調査概要

▽指定した16種を中心に、庭で見かけた野鳥の種類と数を記録する調査。

▽調査参加庭数：27庭 ▽調査報告件数：のべ110件

●お庭で見られた野鳥ランキング（対象16種）

2017年度調査				
順位	種	見られた庭数	報告のべ件数	%
第1位	スズメ	37庭	のべ139件	90.24%
第2位	ヒヨドリ	30庭	のべ91件	73.17%
第3位	キジバト	26庭	のべ81件	63.41%
第4位	ムクドリ	19庭	のべ49件	46.34%
第5位	シジュウカラ	18庭	のべ62件	43.90%
第6位	ツバメ	16庭	のべ41件	39.02%
第7位	ハシボソガラス	14庭	のべ34件	34.15%
第7位	メジロ	14庭	のべ31件	34.15%
第9位	ハジブトガラス	10庭	のべ19件	24.39%
第10位	ヤマガラ	8庭	のべ17件	19.51%
第11位	ハクセキレイ	7庭	のべ21件	17.07%
第12位	オナガ	6庭	のべ15件	14.63%
第13位	カワラヒワ	5庭	のべ11件	12.20%
第13位	コゲラ	5庭	のべ10件	12.20%
第15位	モズ	3庭	のべ3件	7.32%
第16位	アオバズク	0庭	のべ0件	0.00%

2016年度調査でのランキング		2015年度調査でのランキング		2014年度調査でのランキング	
スズメ	85.71%	スズメ	86.96%	スズメ	84.78%
ヒヨドリ	69.05%	ヒヨドリ	69.57%	ヒヨドリ	63.04%
キジバト	59.52%	キジバト	52.17%	キジバト	60.87%
シジュウカラ	47.62%	シジュウカラ	47.83%	シジュウカラ	54.35%
ツバメ	47.62%	ムクドリ	45.65%	ムクドリ	47.83%
ムクドリ	42.86%	ツバメ	43.48%	ツバメ	41.30%
ハシボソガラス	40.48%	ハシボソガラス	34.78%	メジロ	39.13%
ハジブトガラス	35.71%	メジロ	34.78%	ハジブトガラス	34.78%
メジロ	33.33%	ハジブトガラス	28.26%	ハシボソガラス	30.43%
ハクセキレイ	21.43%	ハクセキレイ	17.39%	ハクセキレイ	17.39%
カワラヒワ	16.67%	カワラヒワ	17.39%	オナガ	15.22%
オナガ	14.29%	オナガ	10.87%	モズ	13.04%
コゲラ	14.29%	コゲラ	8.70%	コゲラ	10.87%
ヤマガラ	7.14%	ヤマガラ	6.52%	カワラヒワ	8.70%
モズ	2.38%	モズ	2.17%	ヤマガラ	4.35%
アオバズク	0.00%	アオバズク	2.17%	アオバズク	0.00%

2013年度調査でのランキング		2012年度調査でのランキング		2011年度調査でのランキング		2010年度調査でのランキング	
スズメ	79.59%	スズメ	91.49%	スズメ	96.15%	スズメ	91.10%
ヒヨドリ	63.26%	キジバト	59.57%	ヒヨドリ	65.38%	ヒヨドリ	60.96%
シジュウカラ	57.14%	ヒヨドリ	51.06%	キジバト	64.10%	キジバト	50.68%
キジバト	53.06%	シジュウカラ	46.81%	ツバメ	36.99%	シジュウカラ	48.63%
ツバメ	51.02%	ハジブトガラス	40.43%	ハジブトガラス	46.15%	ツバメ	36.99%
ムクドリ	36.73%	ツバメ	34.04%	シジュウカラ	46.15%	ムクドリ	32.19%
メジロ	32.65%	ムクドリ	29.79%	ムクドリ	47.44%	メジロ	29.45%
ハシボソガラス	30.61%	メジロ	25.53%	メジロ	29.49%	ハジブトガラス	26.03%
ハクセキレイ	28.57%	ハシボソガラス	25.53%	ハシボソガラス	19.23%	ハクセキレイ	18.49%
ハジブトガラス	18.36%	オナガ	12.77%	ハクセキレイ	19.23%	ハシボソガラス	17.12%
オナガ	18.36%	ハクセキレイ	10.64%	オナガ	19.23%	オナガ	10.96%
カワラヒワ	14.28%	コゲラ	10.64%	コゲラ	8.97%	コゲラ	10.96%
コゲラ	12.24%	カワラヒワ	6.38%	カワラヒワ	7.69%	カワラヒワ	8.90%
ヤマガラ	10.20%	ヤマガラ	4.25%	モズ	7.69%	モズ	4.79%
モズ	4.08%	モズ	4.25%	ヤマガラ	2.56%	ヤマガラ	4.79%
アオバズク	0.00%	アオバズク	0.00%	アオバズク	1.28%	アオバズク	0.68%

●こんな鳥たちもお庭に！
～その他に見られた鳥～

- ・エナガ
- ・イソヒヨドリ
- ・ウグイス
- ・ガビチョウ
- ・カルガモ
- ・ホトトギス
- ・ホオジロ
- ・キジ
- ・ツグミ
- ・カワラバト
- ・アオジ
- ・ジョウビタキ等



イソヒヨドリ(♂)



●調査概要

▽お庭で見かけたあらゆる生きものについて、種類と数を記録する調査。
 ▽調査参加庭数： 63 庭 ▽調査報告件数： のべ 4,486 件

●お庭で見られた生きものの種類

分類群	目撃された種類	分析対象件数 (種名が明確なもの)	報告のべ件数	2010～2017年度 調査を合わせた総計
昆虫類	15目126科461種	2,493件	のべ3,558件	986種 (+114種)
鳥類	4目14科19種	221件	のべ237件	54種 (+0種)
両生類	2目4科8種	37件	のべ52件	14種 (+2種)
は虫類	2目6科8種	102件	のべ158件	16種 (+1種)
ほ乳類	3目4科4種	11件	のべ14件	9種 (+0種)
その他	54種 (クモ類15科33種 陸産貝類6科12種 その他8種)	263件 (クモ類147件 陸産貝類39件 その他72件)	のべ467件	122種 (+18種)
計	554種	3,127件	のべ4,486件	1,201種 (+135種)

●こんな生きものたちもお庭で見られました！

お庭の環境ではなかなか見られないと思われていた生きものや、そもそも出会うことが難しい生きものなどを発見した参加者の方もいました。



キジ (♂)

分類群	種名	報告された庭と報告件数	見られた都道府県
鳥類	キジ	1庭2件	茨城県
	ヤマガラ	2件	大阪府など
	インヒヨドリ	1庭1件	大阪府
	ガビチョウ	1庭1件	神奈川県
昆虫類	クロマダラソテツジミ	1庭2件	不明
	イシガケチョウ	1庭1件	不明
	ピロードハマキ	1庭1件	東京都
	タイワンタケマパチ	1庭4件	愛知県
クモ類	コガネグモ	1庭2件	茨城県
	アシダカグモ	2庭5件	三重県、岡山県

●お庭を利用する生きものは 1,201 種も確認されました。

2010 年度から 8 年間、多くのお庭で「お庭の生きもの目録」調査が行われ、昆虫類を始めとして、2017 年度は 554 種類、これまでと合わせ 1,201 種類の生きものが確認されました。どのような生きものたちがお庭をよく利用するのか… この調査の蓄積は、その答えに迫る大事な鍵となるはずです。



アシダカグモ



ピロードハマキ
(ガの仲間)

製作決定!

庭の 生きものハンドブック（仮称）



NPO 法人 生態教育センターでは、2010 年度から取り組んできた「お庭の生きもの調査」のこれまでの成果を元に、庭にやってくる昆虫類や鳥類などの小動物を広く一般の方々に紹介し、かつ、今後のお庭の生きもの調査にも役立てることのできる図鑑『庭の生きものハンドブック（仮称）』を企画・製作することにいたしました。

これまで「お庭の生きもの調査」にご参加頂きながらも、なかなか生きものの判別が難しく、正しい調査結果を記入できているのかどうか不安だった……という方も多かったことと思います。今回の『庭の生きものハンドブック（仮称）』はそうした方にもピッタリな図鑑として使って頂けるよう、以下のような内容を目指しています。

●これまで「お庭の生きもの調査」で確認された生きものたちを中心に、

- ・昆虫類 約 250 種
- ・鳥類 約 40 種
- ・哺乳類 約 14 種
- ・爬虫類 約 4 種
- ・両生類 約 2 種
- ・その他（クモ類等） 約 29 種

…等について、写真と解説で、その生態を説明する図鑑。

- お子様や初心者の方にも、できる限りわかりやすく判別方法を記載。
- これまでの調査結果を踏まえ、かつ、写真をご提供いただくなど、「お庭の生きもの調査」にご参加頂いた皆さまと一緒に作り上げる図鑑。

今年度の調査と並行して写真集めや原稿作成を行い、「お庭の生きもの調査」10 年目となる 2019 年の完成を目指して作業を行います。どうぞお楽しみに！

また、『庭の生きものハンドブック（仮称）』製作に際し、「お庭の生きもの調査」参加者の皆様に、お願いがあります。別添えの資料にも詳しく説明がありますとおり、（次ページに続く）

図鑑に掲載するための生きもの写真を募集します！

『庭の生きものハンドブック（仮称）』に掲載する生きもの写真を、「お庭の生きもの調査」参加者の皆様から広く募集いたします。

<対象種と撮影時のお願い>

- 対象となる種：**別紙の一覧表に掲載している種の写真を募集いたします。**ただし、これ以外のものをお送りいただいた場合でも、使用を検討させていただきます。（**一覧表はホームページからもご覧いただけます**）
- 対象となる形態：成虫だけでなく、卵や幼虫、蛹（さなぎ）などでも構いません。
- 撮影場所：問いません。
- 撮影時期：問いません。
- 撮影時の注意：
 - ・種の識別に役立つ図鑑とするため、**識別ポイントが分かるように**写してください。
 - ・ピントが合っていないものやブレているものは使用できませんので、ご注意ください。

※これまでの「お庭の生きもの調査」で、皆様に送付して頂いた調査写真の中に掲載させて頂きたい写真がある場合には、事務局からあらためてご連絡・確認をさせていただきます。

<写真提供の際の条件>

- 募集締切：平成 30 年 11 月 30 日締切
平成 30 年度の「お庭の生きもの調査」終了から 1 ヶ月後までとなります。
- 提出形式：デジタルデータでのご提供をお願いします。
以下の①から④までのいずれかの方法で提出をお願いします。
 - ①「お庭の生きもの調査」の公式メールアドレス
ikimono@wildlife.ne.jp へのメールの添付ファイルとして送付。
 - ②「お庭の生きもの調査」報告専用ウェブサイトからの、通常の調査報告と同様、写真送付機能を利用した送付。
 - ③大容量サイズの電子データを送るサービス（例：宅ふぁいる便等）を利用した送付。
 - ④CD-R などのメディアの郵送
- 写真データサイズおよび形式：その際、1 枚あたり 2M（メガ）以上のサイズがある「JPEG 形式」ものでお願いします。

※大変申し訳ありませんが、写真データの送付に関する代金等、一切の費用負担は、応募される方でご負担いただく形になりますので、どうぞご了承ください。

- 写真データのファイル名：
各写真のファイル名には、種名、撮影年月日（分かれば）、撮影者氏名をご入力下さい。

例)



ツバメシジミ_2018.4.21_生態太郎.jpg

○ご提供いただいた写真の選定、掲載の可否

- ・当生態教育センターに一任して頂きます。採用候補となった際には、こちらからご連絡申し上げ、あらためて確認を頂きます。応募時に氏名・連絡先のご記入を忘れずをお願いいたします。

○写真使用料について

- ・誠に申し訳ありませんが、非営利活動法人の自主事業としての取り組みですので、写真の使用料をお支払いすることはできません。写真を送付頂く際には、この点を十分にご承知おき下さいますよう、お願い申し上げます。
- ・写真を使用させて頂いた場合、出来上がった図鑑の巻末に謝辞とともにお名前を掲載させていただきます。

○写真の著作権について

- ・著作権は各撮影者様に帰属します。当生態教育センターは図鑑を作成する際に、その使用許可を頂く形となります

●「お庭の生きもの調査」は、以下のような皆様にご協力いただきました。

「お庭の生きもの調査」へ参加登録していただいた方のお住まいや年齢層などのプロフィールです。ご協力ありがとうございました。

▼都道府県別登録者数

北海道	5	東京都	154	滋賀県	32	香川県	12	
青森県	4	神奈川県	112	京都府	31	愛媛県	9	
岩手県	6	新潟県	13	大阪府	46	高知県	3	
宮城県	18	富山県	3	兵庫県	65	福岡県	36	
秋田県	1	石川県	1	奈良県	23	佐賀県	6	
山形県	6	福井県	7	和歌山県	10	長崎県	8	
福島県	13	山梨県	9	鳥取県	2	熊本県	12	
茨城県	32	長野県	9	島根県	6	大分県	8	
栃木県	24	岐阜県	37	岡山県	29	宮崎県	1	
群馬県	17	静岡県	38	広島県	23	鹿児島県	1	
埼玉県	64	愛知県	83	山口県	22	沖縄県	2	
千葉県	77	三重県	34	徳島県	4	不明	81	
							計	1239

▼年齢層別登録者

～10代	68
20代	33
30代	130
40代	194
50代	218
60代	331
70代～	133
不明	132
計	1239

●「お庭の生きもの調査」は、今後も続いていきます。
 ご興味のある方は、ぜひ調査への参加をご検討ください。



第9回（2018年度）調査を実施します！

○第9回（2018年度）の調査は、例年通り**5～10月**の期間に実施いたします。その間に、可能ならば毎月、お忙しければ1回のみでも結構ですので、調査結果をご報告ください。調査の内容や方法に変更はなく、生きものの初心者の方も、ベテランの方も、自宅で楽しみながら生物多様性保全活動に参加することができる調査になっていますので、ご賛同いただけるようであれば、ぜひエントリーをお願いいたします。

- ▼**団体での参加**も歓迎します。これまでも以下のような参加事例があります。ご相談ください。
- ・小中学校の夏休みの課題として、「はじめての生きもの調査」を実施。
 - ・市区町村における生涯学習、環境学習、環境大学の課題として、各種調査に参加 ……等々。

- ▼第1～8回調査の際にご登録済みの方は、新たな登録は不要です。
- ・調査シートをご利用の方は、例年同様、郵送・FAXでご報告ください。
 - ・WEBサイトをご利用の方は、これまでと同じID・パスワードで報告専用ページにご入りいただけますので、必要事項を入力し、送信してください。
 - ・以前に登録だけはされたものの、調査や報告はできなかった方でも、もちろん参加可能です。

お庭の生きもの調査 Garden Wild Life Watch 2016

メンバー登録
 まずはここに
 お庭の調査
 お庭の調査
 はじめての生きもの調査
 お庭の調査
 お庭にやってくる野鳥の調査
 お庭の生きもの調査

調査の結果・結果の報告
 2018年度報告
 2017年度報告
 2016年度報告
 2015年度報告
 2014年度報告

NPPO 法人生態教育センターでは、2010年度から環境省や企業・大学などと協働して、各様の庭にはどのような生きものがあるのかを調べる「お庭の生きもの調査」を実施しています。

この「お庭の生きもの調査」プロジェクトは、生物多様性保全を目的とし、日本で初めての、個人宅の1庭（ベランダ、バルコニー等を含む）を対象とした全国規模の市民参加型生きもの調査です。

●2016年5月から第7回調査を行っています。
 2016年度の調査は、5～10月の期間に実施いたします。生きもの初心者の方も、ベテランの方も、自宅で楽しみながら生物多様性保全活動に参加することができる調査になっていますので、以下の説明をお読みいただき、ご賛同いただけるようであれば、ぜひエントリーをお願いします。

○調査期間：2016年5月～10月
 ○調査対象：春から夏にかけて、庭先で見られる生きもの
 ○調査方法：【初心者コース】お庭で見られる生きものに○をつけるだけの簡単な調査です。【調査員コース】生きものに興味のある方を中心に、お庭にやってくる野鳥や昆虫を定期的に調査します。

○参加方法：現在、登録および報告受付中です。下記の参加登録方法によって、エントリーしてください。※2009年～2014年度の調査に登録・参加していた方は、引き続きご参加いただけます（新たな登録は不要です）。

●「お庭の生きもの調査」とは…
 ◆あなたの家の「お庭」です。
 生きもの調査と言っても、遠くへ出かけたりする必要はありません。調査対象地は、自宅から徒歩で行けるあなたの家の「お庭」です。ベランダ、バルコニー、屋上などでも構いません。とても小さく、期間中の調査になりますが、その調査結果の積み重ねは、とても大きな意味を持ちます。

◆「お庭」だからこそ、簡単に参加できます！
 調査への参加はとても簡単！Webサイトから登録することも、FAXや郵送でも参加することができます。また、同じ町内でも、公開が1ヶ月に一度、見慣れた庭先で調査を行います。

「お庭の生きもの調査」WEB サイト

お庭の生きもの調査 RYO アカウント設定

お庭の生きもの調査
 お庭の生きもの記録
 お庭にやってくる野鳥の調査
 はじめての生きもの調査

はじめての生きもの調査

- 1ヶ月の中で、1回でもOK、何回調べてもOK。
- 新しい月になったら、また同じ調査をします。見られる生きものが少しずつ変わってくるはずですよ。
- 1ヶ月で調べた内容をまとめて、月末までに、1回報告します。

観察月

観察できた生きもの

観察した生きもの

- ロズメ
- ロトドリ
- ロシメ
- ロシメカラ
- ロッパ
- ロベニシメ
- ロモンシロチョウ
- ロアオシメ

調査報告専用ページ

■お問い合わせ、参加申込みは……

[主催]



N P O 法人
生態教育センター
<http://www.wildlife.ne.jp/>

〒189-0013
 東京都東村山市栄町 2-28-5
 小河原ビル 3F
 TEL:042-390-0032 FAX:042-390-1237
 e-mail : ikimono@wildlife.ne.jp